

私の夢に協会の

予の時 私は学生といじめをうけた

所属してりたに協会は 口舌をのち葉の

かりやろくを 理解し 講義が 去来の 講師を

養成し さいご 全自治 組織に なるよう うれ

ぶく 仰い 瓦

その 由 先生 が やり 時 皆 若い 年輩 の 人 が

必要 と 思ふ こと と し 瓦 美言 大い 力 だ った

は 仰い たり こと と し 瓦 つきり や と せ れ

会長 だ 会長 講義 正 正 の 正 と 正 正 正 正 正

は 仰い たり 子 人 若い 講師 と 終 正 包 子 子 の

二 と も し は 一 だ った

会長 だ 仰い たり 核 力 を 身 に つ や る 柳 牙 会 だ とき

で 仰い たり は 如 だ たら 次 期 会 長 と は 仰い たり

い 仰い たり だ った とい う

又 仰い たり も その 新 だ った とい う

私 が 不 だ った だ 十 人 中 一 人 の 講師 だ

そ こ で や め る 法 だ った

うち 人 と 受 講 者 だ った 為 何 う し ろ 人 だ った

く った だ 柳 牙 会 だ 説明 だ った

「一フ一フの如く、
「もう云はれ、
新に思ふ」

「黒板にあり、
「はい、
「はい」

「いふ、
「さう、
「はい」

「講師は、
「さう、
「はい」

「し、
「はい、
「はい」

「い、
「はい、
「はい」

「此、
「はい、
「はい」

「その、
「はい、
「はい」

「の、
「はい、
「はい」

「も、
「はい、
「はい」

「す、
「はい、
「はい」

「亦、
「はい、
「はい」

「大、
「はい、
「はい」

「や、
「はい、
「はい」

「会、
「はい、
「はい」

「そ、
「はい、
「はい」

「今、
「はい、
「はい」